

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
ヒロ・デザイン専門学校		昭和51年7月24日	下田眞一郎		〒860-0012 熊本市中央区紺屋今町3-14 (電話) 096-352-9059		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人出田文化学園		平成1年1月11日	徳永隆裕		〒860-0012 熊本市中央区紺屋今町3-14 (電話) 096-352-9059		
目的	教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育及び専修学校教育を行い、実践的な知識・技術等を得し社会に貢献できる創造的で人間性豊かな人材の育成することを目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
服飾・家政	服飾専門課程		プロフェッショナルデザイン科			平成29年2月28日 文部科学省告示26号	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間		4219	395	809	234	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		13人		7人	2人	9人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業科目毎の試験及び提出物評価60%		
長期休み	■学年始:4月1日～4月8日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月24日～3月31日			卒業・進級条件	・各学年の授業日数の4/5以上の出席及び、各教科の4/5以上の出席 ・各年科目評価で不可が2科目以内		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者を含めた3者面談			課外活動	■課外活動の種類 ショップ開設、地域清掃活動 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ファッション業界 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 67% ■その他 関連分野就職率 100% (平成28年度卒業者に関する平成28年3月31日時点の情報)			主な資格・検定等	ファッション色彩能力検定2・3級 パターンメイキング検定2級		
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成28年4月1日 在学者 13名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 13名 (平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 無し ■中退防止のための取組 日常指導: 観察とコミュニケーション 面談: 年3回以上(課題の早めの把握、問題の共有、課題解決の支援)、3者面談の実施。 組織的対応: 学生の変化を感じた時点での情報の共有。早めの問題解決。						
ホームページ	URL: http://hiro-design.ac.jp						

授業科目等の概要

(服飾専門課程プロフェッショナルデザイン学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			服飾造形論 I	衣服の基本的な構造や縫製方法を学ぶ。素材、デザインによる縫製方法や基本アイテムを、パターン、仕様工程に沿って製作し特徴を理解する。また、販売実習を通して、商品企画の考え方、手法を学び、商品企画や服飾造形に活かす。	1通	608	16	△	○	○	△	○		○	
○			服飾デザイン論	業界のあらゆる分野に必要な基本的知識、分析方法を学び、市場調査や雑誌分析、トレンド分析を実践的に演習し習得する。	1通	76	2	△	○			○			
○			アパレル素材品質論	アパレル製品の主要をなす繊維、テキスタイルの基礎知識と皮革、毛皮、新素材の開発、加工技術の発達までの幅広い知識と理解を得る。	1通	38	1	○	△		○		○		
○			ファッションデザイン画	プロポーション（8頭身）とアイテム画の基本技法を学ぶ。実物の製品を観察し、プロポーション・バランス・縫製方法などを、製品図として正確に描くスキルを重ねる。	1通	38	1	△	○		○		○		
○			服装史	ヨーロッパに端を発した洋服の歴史をその文化と共に知ること、服の将来を展望し、創作活動とビジネスに繋げる。	1通	38	1	○			○		○		
○			ファッションビジネス論	ファッション産業の特性や構造、ビジネス戦略の変遷とグローバル化などの近年の動向、消費者とファッションの関係など、ファッションビジネスを深く掘り下げて学ぶ。	1通	190	5	○			○		○		
○			特別講義	幅広い分野で活躍する人や卒業生の講話を実施したり、美術館での鑑賞を行ったりと幅広い専門的な知識や一般教養をみにつける。	1通	19	0.5	○	△		○	△	△	○	
○			服飾造形論 I	衣服の基本的な構造や縫製方法を学ぶ。素材、デザインによる縫製方法や基本アイテムを、パターン、仕様工程に沿って製作し特徴を理解する。また、販売実習を通して、商品企画の考え方、手法を学び、商品企画や服飾造形に活かす。	2通	722	19	△		○	○	△	○		○
○			アパレル素材品質論	アパレル製品の主要をなす繊維、テキスタイルの基礎知識と皮革、毛皮、新素材の開発、加工技術の発達までの幅広い知識と理解を得る。	2通	19	0.5	○	△		○		○		
○			ファッションデザイン画	プロポーション（8頭身）とアイテム画の基本技法を学ぶ。実物の製品を観察し、プロポーション・バランス・縫製方法などを、製品図として正確に描くスキルを重ねる。	2通	76	2	△	○		○		○		
○			服装史	ヨーロッパに端を発した洋服の歴史をその文化と共に知ること、服の将来を展望し、創作活動とビジネスに繋げる。	2通	19	0.5	○			○		○		
○			生産管理	物作り（洋服）の仕組みや段取りの大切さ、人、材料、機械、情報の関係を学び、アパレル業界における生産管理の必要性と管理の目的を理解する。	2通	19	0.5	○	△		○		○		
○			アパレル企画	市場調査・分析をもとに、トレンドの動向を把握し、コンセプトを整理し、オリジナルブランドの企画立案ができるようになる。	2通	152	4	△	○		○		○		

○		英会話	グローバル化が進むファッション業界に対応すべく、ファッションビジネスの現場ですぐに使える実践的な英会話を音読、ロールプレイングを中心に、話す技術を身に付ける。	2通	38	1	○	○	○						
○		特別講義	幅広い分野で活躍する人や卒業生の講話を実施したり、美術館での鑑賞を行ったりと幅広い専門的な知識や一般教養をみにつける。	2通	19	0.5	○	△	○	△	△	○			
○		服飾造形論Ⅱ	衣服の基本的な構造や縫製方法の理解を深める。素材、デザインによる縫製方法や基本アイテムを、応用してデザイン展開を学ぶ様々な素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン縫製を学ぶ。また、販売実習を通して、商品企画の考え方、手法を学び、商品企画や服飾造形に活かす。	3通	779	20.5	△		○	○	△	○			○
○		ファッションデザイン画	プロポーション（8頭身）とアイテム画の基本技法を学ぶ。実物の製品を観察し、プロポーション・バランス・縫製方法などを、製品図として正確に描くスキルを重ねる。	3通	76	2	△	○		○		○			
○		アパレル企画	市場調査・分析をもとに、トレンドの動向を把握し、コンセプトを整理し、オリジナルブランドの企画立案ができるようになる。	3通	114	3	△	○		○		○			
○		アパレル演習	インターンシップ等を通して、机上で学んできたことを実践的に学ぶ。現場を体験することで、自らに不足している技術や知識を認識し、意欲的に取り組み、力をつける。	3通	114	3	△		○			△	○		
○		英会話	グローバル化が進むファッション業界に対応すべく、ファッションビジネスの現場ですぐに使える実践的な英会話を音読、ロールプレイングを中心に、話す技術を身に付ける。	3通	19	0.5		○		○					○
○		一般教養	仕事をしていく上での最低限のコミュニケーション（口頭表現、文章表現）ができる力を身に付け、就職試験で課される一般教養試験に対応できるようにする。	3通	19	0.5	○	△		○		○			
○		特別講義	幅広い分野で活躍する人や卒業生の講話を実施したり、美術館での鑑賞を行ったりと幅広い専門的な知識や一般教養をみにつける。	3通	19	0.5	○	△		○	△	△	○		
○		服飾造形論Ⅱ	衣服の基本的な構造や縫製方法の理解を深める。素材、デザインによる縫製方法や基本アイテムを、応用してデザイン展開を学ぶ様々な素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン縫製を学ぶ。また、販売実習を通して、商品企画の考え方、手法を学び、商品企画や服飾造形に活かす。	4通	792	22	△		○	○	△	○			○
○		アパレル企画	市場調査・分析をもとに、トレンドの動向を把握し、コンセプトを整理し、オリジナルブランドの企画立案ができるようになる。	4通	180	5	△	○		○		○			
○		一般教養	仕事をしていく上での最低限のコミュニケーション（口頭表現、文章表現）ができる力を身に付け、就職試験で課される一般教養試験に対応できるようにする。	4通	18	0.5	○	△		○		○			
○		特別講義	幅広い分野で活躍する人や卒業生の講話を実施したり、美術館での鑑賞を行ったりと幅広い専門的な知識や一般教養をみにつける。	4通	18	0.5	○	△		○	△	△	○		
合計			26科目	4219単位時間(単位)											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年において、授業日数の4/5以上の出席及び「不可」が2科目以内	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	19週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。